

地理学連携機構総会議事録

日時：2009年3月27日（金） 12:35-13:40

場所：帝京大学11号館1174教室

出席者(順不同・敬称略)：

地理情報システム学会 村山祐司、

(社)東京地学協会 田邊 裕、東北地理学会 日野正輝・阿部 隆、

日本生気象学会 松本 太、日本地形学連合 島津 弘、

日本地理教育学会 犬井正・井田仁康(書記)、地理科学学会 岡橋秀典、

(社)日本地理学会 松本 淳(議長：連携機構幹事)・手塚 章、

地理関連学会連合 野上道男(連携機構代表)

(欠席学会：日本沙漠学会、(社)日本土壌肥料学会)

経済地理学会 箸本健二、人文地理学会 小島泰雄、地理教育研究会 谷川尚哉、

日本国際地図学会 鈴木厚志、日本雪氷学会 岩田修二、日本地域学会 藪田雅弘、

日本農業気象学会 山川修治、水文・水資源学会 近藤昭彦、

歴史地理学会 林 和生

(欠席学会：日本環境共生学会、日本水文科学学会、日本地下水学会、日本地質学会、

日本都市計画学会)

日本学術会議IGU分科会：碓井照子(連携機構副代表)、氷見山幸夫、石川義孝

人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会 秋山元秀(連携機構幹事)

1. 「地理学連携機構」発足について

野上地理関係学会連合議長より、「地理学連携機構」発足についての経緯について説明があり、地理関連学会連合と人文・経済地理及び地域教育関連学会連携協議会の2つの組織を残したままで「地理学連携機構」を設立する方針が承認された。そのうえで「地理学連携機構要綱(案)」が審議され、「学術会議への協力」という文言を第2条に入れる修正案が承認された。要綱に従い、連携機構代表 野上道男、副代表 碓井照子、幹事 秋山元秀、松本 淳 が選出された。

2. 地球惑星科学連合の法人化および地理学関連学会の動向

野上代表および松本幹事(総会議長)より、地理学関連学会が地球惑星科学連合に加入する背景について説明があった後に、地球惑星科学連合の法人化後の各地理学会の動向について情報を提供するよう依頼があり、それに応じて情報交換がなされた。また、地球惑星科学連合の運営について質疑応答がなされた。

3. 地域多様性について

野上代表より「地理学連携機構」の存立理念として、「地域多様性」を基盤（基本理念）とすることが別紙資料により提案され、意見交換が行われた。今後この理念に基づいたシンポジウムを企画することが承認された。

4. 次期役員について

野上代表より、2010年3月で地理関連学会連合議長の任期が満了になることから、その後は代表を継続する意志がないことが表明され、次期代表について考慮したいもらいたい旨依頼があった。

以上